

平成 29 年 8 月 30 日

～「道の駅」と大学との連携～  
地域における新たな価値の創造を連携企画します。

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、香川大学と香川県内2つの「道の駅」※及び香川河川国道事務所3者で、平成27年度から引き続き「道の駅」での連携企画に取り組みます。

この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、「道の駅」と大学がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を実施するものです。（詳細は別途資料参照）

※「たからだの里さいた」（三豊市）、「小豆島ふるさと村」（小豆島町）

## 【平成 29 年度の実施内容】

## ＜重点「道の駅」たからだの里さいた＞

## 課題：新しいイベントの企画立案

- ・現在の定例イベントに加え、新規顧客獲得のため、ファミリー層もしくは若年層にアピールできる新しいイベントを企画立案。

## ＜「道の駅」小豆島ふるさと村＞

## 課題：小豆島ふるさと村主催イベント催し物提案と実施

- ・ふるさと村祭り（9月上旬）等イベントの内容立案、広報、運営。

国立大学法人 香川大学／三豊市・小豆島町／国土交通省 香川河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No. 3美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト等】に該当します。

## ●取り組み内容に関する問合せ

- |                                                |      |                     |
|------------------------------------------------|------|---------------------|
| ・国立大学法人香川大学 地域連携戦略室                            | 特命講師 | やまだ かおり<br>山田 香織    |
| (Tel:087-832-1938 (直通) ※不在の場合Tel:087-832-1369) |      | 担当：松坂               |
| ・三豊市役所 産業政策課 (Tel:0875-73-3013)                | 主 任  | さいじょう としたか<br>西城 利隆 |
| ・小豆島町役場 商工観光課 (Tel:0879-82-7007)               | 係 長  | ききたに こうじ<br>笹谷 幸司   |

## ●制度に関する問合せ

- |                            |       |                    |
|----------------------------|-------|--------------------|
| ・国土交通省 香川河川国道事務所           | 事業対策官 | かなたき かずひこ<br>金滝 和彦 |
| (Tel:087-821-1635 (交通対策課)) |       |                    |

# 「道の駅」と香川大学との連携（案）

香川県内の2つの「道の駅」※と香川大学の学生が連携して、「道の駅」におけるイベントの企画立案等を行います。

※「たからだの里さいた」(三豊市)、「小豆島ふるさと村」(小豆島町)

## 《実施内容》

### <重点「道の駅」たからだの里さいた>

#### 課題：新しいイベントの企画立案

- ・現在の定例イベントに加え、新規顧客獲得のため、ファミリー層もしくは若年層にアピールできる新しいイベントを企画立案。

### <「道の駅」小豆島ふるさと村>

#### 課題：小豆島ふるさと村主催イベント催し物提案と実施

- ・ふるさと村祭り(9月上旬)等イベントの内容立案、広報、運営。

#### 【香川大学】

香川大学(所在地：香川県高松市)は、6学部、8研究科を擁した総合大学として、個性と競争力を高めるために「地域に根差した学生中心の大学」をめざしています。

また、地域貢献では、文部科学省の大学改革推進事業のひとつ、「地(知)の拠点整備事業」において、平成25年度に採択され、全学的に県内自治体が連携し、離島振興や街の活性化、定住促進対策などの地域活性化に取り組んでいます。

## 《具体的な活動内容》

### <重点「道の駅」たからだの里さいた>

○「たからだの里さいた」は、三豊市における地産地消・移住促進の拠点となる重要な地域内の駅として位置付けられ、その特に優れた取組が認められて2015年度には、香川県内初の重点「道の駅」に選定されました。

「道の駅」では、ビアガーデン等季節に応じた様々なイベントを開催して、利用客の増加に取り組んでいますが、さらなる新規顧客獲得のため、ファミリー層もしくは若年層にアピールできる新しいイベントの企画立案を行います。



「たからだの里さいた」の全景



「たからだの里さいた」での打ち合わせの様子(H29年度)

### <「道の駅」小豆島ふるさと村>

○「小豆島ふるさと村」は、恵まれた自然環境の中で、すもも狩りやカヌー教室、ます網、サイクリング、釣り、テニス、バーベキュー、キャンプ、夏にはプールと滞在型、参加型で思いっきり遊べるスポットです。

「道の駅」を、小豆島の魅力を体験できる場として交流人口を増やすため、ふるさと村祭りなど様々なイベントの内容の立案、広報、運営を行います。



「小豆島ふるさと村」の全景



「小豆島ふるさと村」での打ち合わせの様子(H29年度)

# 「道の駅」と香川大学との連携（案）

## 香川県内の「道の駅」位置図



- |              |              |                  |
|--------------|--------------|------------------|
| 1 瀬戸大橋記念公園   | 2 津田の松原      | 3 ことひき           |
| 4 ふれあいパークみの  | 5 小豆島オリーブ公園  | 6 小豆島ふるさと村       |
| 7 空の夢もみの木パーク | 8 みろく        | 9 しおのえ           |
| 10 滝 宮       | 11 ことなみ      | 12 恋人の聖地 うたづ臨海公園 |
| 13 とよはま      | 14 たからだの里さいた | 15 大坂城残石記念公園     |
| 16 ながお       | 17 香南楽湯      | 18 源平の里むれ        |

# 「道の駅」と香川大学との連携（平成28年度成果）

香川県内の2つの「道の駅」※と香川大学の学生が連携して、「道の駅」の商品開発等を実施。

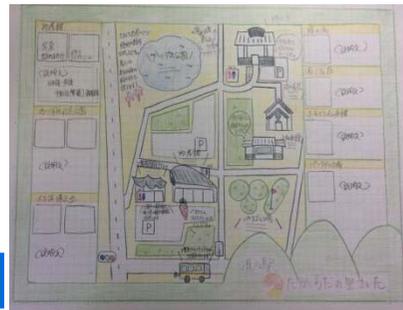
※「たからだの里さいた」(三豊市)、「小豆島ふるさと村」(小豆島町)

## 《たからだの里さいた》

### 《実施内容》

#### ①施設案内板の多言語化

- 「道の駅」の詳細な施設案内板について、内容や設置場所、インバウンド向けの多言語標記などを企画立案。



案内図デザインの原案作成→

#### ②温泉「環の湯」の若者の利用客を増やす

- 既存施設の利用実態を調べたうえで、利用促進方法について提案。
- アンケート結果より、バイク利用者の認知度は低いが、温泉を利用する比率は車より高いことが判明。
- そのため、バイク利用者への広報が重要と提案。



#### ③冬に販売可能な商品等の開発

- 地場産品を活かした「道の駅」オリジナル商品の開発。

肉巻きおにぎり



ライスコロッケ



現在商品化に向け検討中→

## 《小豆島ふるさと村》

### 《実施内容》

#### ①カヤックの本格シーズンまでに、コンテナに絵を描く

- 「道の駅」の課題や周辺の「観光資源」を調べ、カヤックを入れているコンテナが地味で何が入っているかわからないため。



#### ②外国人向けの、各施設の案内カードの作成

- 「道の駅」の豊富な施設を外国人に知らせることが重要と判断。

**表**

Sea Kayaking

Instructors guide you on to the sea, and always stay by your side on a rescue boat or a kayak for your comfort.

●Hours: 9:30am-4:00pm  
●Period: Mid Age to Early Oct  
●Age: 3,70years  
●Time required: 50minutes  
●14 people or more  
Please consult us for smaller group (2-3 people)

Shodoshima Furusato-mura Public Corporation  
2016-10-01, 10:00am-10:00pm

**裏**

You head off to a desert island (beringina) with a circumference of 200m, located 200m offshore from Shodoshima Furusato-mura.

#### ③道の駅トイレについてのアンケート調査の実施と分析

- トイレを快適に利用してもらうため、現状の調査・分析、課題抽出が必要と判断。
- アンケートを実施し、分析と課題解決の対策を提案。



5. トイレの満足度はどのくらいですか？



6. また利用しようと思えますか？

